

読んで!

見て!

なすから議会だより

第74号

令和4年11月10日



議会報告会
「市民と議員の懇談会」
(10月20日)

市民と議員の懇談会

主催 那須烏山市議会



那須烏山市

目次

令和6年第3回9月定例会のあらまし……………	P 2～4	活動報告等……………	P 14～15
令和6年第3回9月定例会の賛否一覧……………	P 4	特集・あとがき……………	P 16
令和6年第3回9月定例会主な質疑……………	P 5～6		
令和6年第3回9月定例会決算審査……………	P 7～8	●編集・発行	那須烏山市議会広報委員会
一般質問(9人)……………	P 9～13	●問い合わせ	議会事務局(☎0287-88-7114)

令和6年第3回 9月定例会のあらまし

那須烏山市議会9月定例会は3日に召集され、会期を11日間と定め、補正予算案や条例案など計12議案と8つの会計の決算認定について審議しました。また、4日から6日まで9人が一般質問を行いました。

会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

令和5年度の決算を認定しました

9月定例会は「決算議会」ともいわれ、前年度のお金の収支に関する審議を行います。これを決算認定といいます。那須烏山市議会では、9月9日に常任委員会に付託され9月10日から11日までの2日間にわたって審査を行いました。

決算の詳しい内容については「広報なすからすやま第229号」6～7ページを、また各常任委員会の審査結果については7～8ページをご覧ください。

一般会計

歳入

140億6412万9千円

歳出

131億8357万6千円

特別会計・企業会計

歳入

81億630万7千円

歳出

81億4560万円

令和6年度予算を補正

令和6年度の補正予算案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。今回補正された主な内容は次のとおりです。

会計区分		補正前の額	9月補正予算額	合 計
一般会計		123億6833万9千円	3億1571万1千円	126億8405万円
国民健康保険 特別会計	事業勘定	33億215万4千円	7万1千円	33億222万5千円
	診療施設勘定	5418万8千円	77万円	5495万8千円
熊田診療所特別会計		4503万2千円	853万円	5356万2千円
介護保険特別会計		27億3860万7千円	4487万3千円	27億8348万円
水道事業会計	資本的支出	1億5438万1千円	46万円	1億5484万1千円

▼一般会計の歳出の主な内容	補正額
○議会常任委員会の研修等に執行部が随行するための旅費	37万5千円
○アキュム導入10周年記念イベントにおいて物品販売等の催しを追加したことに伴う交付金の増額計上	175万9千円
○栃木県内の企業が実施する就職活動に東京圏内の大学生が参加する際の交通費を支援する補助金	10万8千円
○生活保護者の就労自立支援に係る給付金制度改正に伴うシステム改修費	174万9千円
○新型コロナウイルスワクチン定期予防接種の実施に係る事業費	6921万6千円
○園芸振興の重点事業であるパイプハウス設置費等の補助金	600万円
○アキュム導入10周年記念イベントにおいてそば店を出店する八溝そば街道推進協議会への交付金	45万円
○商工会在が実施するプレミアム付商品券発行事業への補助金	4000万円
○雑草発生等対策として、路肩の除草業務や支障木伐採業務に係る委託費	605万1千円
○野上神長線の舗装改修及び向田落合線落合橋への外灯設置に係る工事費	1000万円
○小学校において不具合が生じた遊具の更新に係る工事費	207万5千円

▼歳入の主な内容	補正額
○プレミアム付商品券発行事業に対する物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	4000万円
○新型コロナウイルスワクチンの確保に係る助成金	4664万6千円
○企業版ふるさと納税寄附金	400万円
○令和5年度決算に伴い精算された介護保険特別会計からの繰入金	1058万9千円

条例改正

那須烏山市国民健康保険条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正により、令和6年12月2日からマイナ保険証に移行されることに伴い、所要の改正を行いました。

那須烏山市議会基本条例の一部改正

市長等に議員からの質問や質疑の趣旨を確認するための機会を与えることとした現行の規定を見直し、議論の論点や争点を明確にするために質問者に対して問い返すことができる権利である「反問権」を市長等に付与するため、所要の改正を行いました。

報 告

令和5年度那須烏山市一般会計継続費精算報告書について

令和4年9月定例会において、三箇小白井線の青雲橋補修工事に係る継続費の予算措置を行い、令和5年度をもって継続年度が終了したことについて報告を受けました。

一般財団法人那須烏山市農業公社の経営状況説明書について

一般財団法人那須烏山市農業公社から、令和5年度経営状況説明書が提出されたことについて報告を受けました。

令和5年度健全化判断比率及び資金不足比率について

令和5年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員による審査結果の報告を受けました。

審査結果の詳細は15ページをご覧ください。

人 事

那須烏山市教育委員会委員の任命同意について

教育委員会委員のうち、橋本里恵氏が令和6年11月29日に任期満了を迎えるにあたり、引き続き委員として任命することについて同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員のうち、橋本恵子氏及び郡司マ

サ子氏が令和6年12月31日に任期満了を迎えるにあたり、谷口京子氏及び高野一良氏を後任の委員として推薦することに同意しました。

そ の 他

専決処分の承認（那須烏山市一般会計補正予算（第4号）について）

デフレ完全脱却のための国の総合経済対策における物価高への支援の一環として定額減税が行われる際に、定額減税しきれないと見込まれる方に対する調整給付金支給のため、令和6年度一般会計予算の歳入歳出をそれぞれ1億8678万5千円増額することについて原案のとおり承認しました。

議決事項

栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

マイナ保険証への移行に伴い、後期高齢者医療の被保険者証や資格証明書が発行されなくなり、代わりに資格確認書等が発行されることから規約を変更することについて議決しました。

令和5年度那須烏山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

令和5年度水道事業会計について、補填財源として使用した建設改良積立金取崩額4925万8626円を資本金に組み入れ、当年度純利益8324万995円を減債積立金に積み立てることについて議決しました。

令和5年度那須烏山市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

令和5年度下水道事業会計について、当期純利益1617万3824円を減債積立金へ積み立てることについて議決しました。

傍聴者数

月 日	内 容	傍聴者数
9月 3日(火)	開会・上程・採決・付託	5人
9月 4日(水)	一般質問	8人
9月 5日(木)	一般質問	10人
9月 6日(金)	一般質問	8人
9月 9日(月)	決算総括質疑	2人
9月18日(水)	報告・採決・閉会	2人
計		35人

令和6年第3回9月議会で審査された請願・陳情

陳情書第3号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

審査結果 不採択

最低賃金法を改正し、全国一律制度を実現し、抜本的に引き上げること、中小企業支援策の拡充を実現するため国に対して意見書を提出することを採択するよう求めるものです。

陳情書第4号 那須烏山市議会陳情の取り扱いについて

審査結果 採択

議会へ陳情する機会を増やすため、陳情書の提出方法を郵送及び電子メール等でも受理できるよう陳情するものです。

陳情書第5号 那須烏山市名誉市民条例改正の陳情

審査結果 採択

那須烏山市名誉市民条例について、名誉市民の対象や、亡くなった方への追贈の考え方が誰でも理解しやすい条文に改正するよう陳情するものです。

陳情書第6号 再審法改正を求める意見書を政府等に提出することを求める件

審査結果 採択

冤罪犠牲者を救済するために、刑事訴訟法の再審規定(再審法)について「再審における検察手持証拠の全面開示」「再審開始決定に対する検察官の不服申立て(上訴)の禁止」を内容とする改正を求める意見書を国に対して提出することを採択するよう求めるものです。

請願・陳情の方法

請願や陳情は、市議会に対して市政への意見や要望を書面により提出することができる制度です。

一般質問通告書提出期限日までに受理した請願・陳情について原則として直近の定例会で採択の可否を審査します。

提出をご予定の方は、提出期限の確認も含め議会事務局までご連絡ください。(☎0287-88-7114)

提出の際の注意事項

- ・請願を提出する場合は紹介議員が必要で、陳情の場合は紹介議員は必要ありません。
- ・サイズはA4、署名または記名押印して提出してください。
- ・道路や水路に関する内容の場合は場所を示す略図を必ず添付してください。

(起立による採決)

※掲載は採決順で渋井議長は表決に加わらない。 ○・・・賛成 ●・・・反対

議 案 等		審議結果	議 員 別 賛 否 一 覧														
			高木洋一	福田長弘	荒井浩二	堀江清一	興野一美	青木敏久	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	渋井由放	中山五男	高田悦男	平塚英教
認 定 第1号	令和5年度那須烏山市一般会計決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認 定 第2号	令和5年度那須烏山市国民健康保険特別会計決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認 定 第4号	令和5年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認 定 第5号	令和5年度那須烏山市介護保険特別会計決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●
陳情書 第3号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	●

※その他の議案17件は全会一致で可決しました。

定例会の審議結果一覧は市議会ホームページから
ご覧いただけます。

<https://www.city.nasukarasuyama.lg.jp/sp/page/dir000085.html>



9月定例会の主な質疑



9月定例会の議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

J R 烏山線利用推進事業費について

Q議員 JR烏山線利用推進事業費175万9000円について、アキュム10周年ということで、冠事業を展開することを含めて事業を進められると思うが、この推進事業費の使い道の説明を求める。

Aまちづくり課長 JR烏山線利用促進事業費のうち173万5000円は11月23日に開催するアキュム導入10周年記念イベントに係る費用である。

内訳は、JR烏山線利用向上委員会が主催となるイベントに係る費用の追加分が122万円であり、交付金での支出となる。当初予算では100万円の予算であったが、イベント内容が固まりつつあるため、それに見合った予算を計上した。次に、アキュム導入10周年を記念した御当地デザインマンホールを作成する費用である。この費用は、JR東日本へのライセンス料が5万5000円、上下水道課の下水道事業会計でのマンホールの作成・設置となるため、まちづくり課として工事負担金を計上し、その費用が46万円となる。



導入10周年を迎えたアキュム

プレミアム付商品券発行事業について

Q議員 プレミアム付商品券発行事業に係る補助金4000万円だが、商工会で実際の事業は展開されるのか、幾らぐらいのプレミアをつける事業なのか、また、いつ頃、このプレミア

ム付商品券発行がされるのか、説明を求める。

A商工観光課長 今回のこの4000万円については、商工会への補助金としており、商工会でプレミアム付商品券の発行事業を実施する。なお、今回のプレミアム付商品券は、基本的にはデジタルでの商品券を核としながら、紙ベースのものも発行するかどうか視野に入れて検討していきたい。また、プレミアム率については、現在商工会において協議中である。実施予定時期については、できれば12月から実施したいと考えており、おおむね実施期間は2か月間で想定している。

路肩の除草と支障木の伐採について

Q議員 路肩の除草と支障木の伐採で、今回500万円ほど計上したが、至るところに支障木や雑草が生い茂っている。都市建設課が管理する道路を合わせると97キロぐらいになり、とても追いつかないと思われる。せめて官公庁の周辺だけでも草を刈ってもらいたい。保健福祉センターから南那須図書館の裏の通りには2メートルに及ぶほどの草が伸びており、巡回して積極的に刈ってもらいたいと思うが、どのように考えているか伺う。

A都市建設課長 なかなか追いつかない状況と考え、より効果的な方法で取り組めないか建設業協会烏山支部と協議を始めたところである。自前の作業員に加えてシルバー人材センター、建設業協会と一体となり対応していきたい。

熊田診療所運営状況について

Q議員 熊田診療所特別会計において今回は人件費を補正している。4月から新体制で診療が開始したが、4月から8月の運営状況について伺う。

A市民課長 4月から6月までの診療収入は、昨年度と比較して、3か月間で49%程度。来院者数は独自に集計していないが、事務員や看護師の話を聞く限りでは、昨年度よりかなり増えている。

令和5年度決算総括質疑

Q議員 コンビニエンスストア証明等取扱件数と詳細について伺う。

A市民課長 住民票1291件で1374枚、印鑑証明1245件で1616枚、所得証明書85件で88枚、課税証明書41件で43枚、住民税決定証明書が15件で16枚である。

Q議員 地域おこし協力隊事業支援110万円の具体的な内容について伺う。

Aまちづくり課長 隊員に月5万円の活動費を交付している。

Q議員 決算書はホームページ上で公開されたが行財政報告書の公開予定があるか伺う。

A総務課長 行財政報告書は、個人情報が含まれていたことから課題があった。今年度は、公開することを前提に作成しているので決算が認定されれば、ホームページに公表したい。

Q議員 庁舎整備基本構想策定支援業務、414万7000円の詳細を伺う。

A公共施設再編担当課長 庁舎整備の在り方や既存4庁舎の利活用の在り方、庁舎等の規模の再検討、庁舎の立地場所、今後のまちづくりの方向性を導くための支援を受け新たな庁舎整備基本構想の策定を行うものである。

Q議員 有償ボランティア400万円超の業務内容を伺う。

Aこども課長 各公立保育施設の安全を確保するため、職員の突発的な休暇等に対応できるよう、有償で業務を依頼するボランティアのことであり、登録制で令和5年度は12名の登録があった。

Q議員 こころの健康づくり業務メンタルヘルスケアの実施状況を伺う。

A総務課長 こころの健康づくり業務は大きく3つあり、カウンセリング業務74万8000円、ストレスチェック業務19万7450円、各種研修業務118万3427円であり、カウンセリング業務は月1回、ストレスチェックは年に1回を基本、研修業務は年間を通じて開催している。

Q議員 市議会議員共済会負担金はどのようなものか伺う。

A議会事務局長 地方議会議員の年金制度は、平成23年5月に廃止となっているが、その時

点で在籍12年以上の退職議員は年金の受給資格を得ており、年金が支給されているため、その負担金である。

Q議員 南那須庁舎修繕費1067万8000円の主な内容について伺う。

A総務課長 現年分520万580円は、冷温水発生機の修繕、給水管の敷設替で、繰越分は直流電源装置の蓄電池と部品の交換であり547万8000円になる。

Q議員 道路占用料390万5775円の内容について伺う。

A都市建設課長 東京電力が160万58円、N-TTが158万7687円、太陽光関係が50万4383円、それ以外が21万3647円である。

Q議員 JR烏山線の通学定期券の補助事業は、当初予算916万円で結果、283人に対して交付額423万6000円である。効果が上がったのか、補助率が何%だったのか伺う。

Aまちづくり課長 100周年記念の一環として、烏山線利用向上及び烏山高等学校への入学者の確保を目的に、補助率4分の1で実施した。令和5年度から7年度までの3年間の事業であり、今後、効果等を検証する。

Q議員 小学校管理費、児童見守りシステムについて伺う。

A学校教育課長 1年生分のフェリカカードを令和5年度は160枚購入した。現在、50%程度の使用率となっている。



児童見守りシステム

Q議員 下水道の烏山処理区の水洗化率が向上してない。今の状況等について説明を願う。

A上下水道課長 供用開始が遅れた分、合併浄化槽が先に入ってしまったことが原因と考えられる。状況を改善するため職員が戸別訪問を行っている。

決算審査

令和5年度一般会計、5特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の決算については、所管の常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会が出された意見等の中から、主なものを要約して掲載しています。

総務企画常任委員会

◎所管する課等

総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価委員会

総合政策課

- ・ふるさと納税については、寄附獲得額は県内でも下位に位置しており、実質的な収支も赤字となっている。令和6年度に事業を移管されたまちづくり課においては、魅力的な返礼品を一層充実させるとともに、本市の魅力をふるさと納税で発信し、更なる寄附額の拡大に向け努力されたい。
- ・第3次総合計画の適切な進捗管理のため、各課に執行計画調書の作成を依頼し、進捗ヒアリングを年3回実施している。内部のヒアリングに留めず、例えば常任委員会委員も同席させ第三者の意見と視点を取り入れるなど、進捗管理方法を見直されたい。

まちづくり課

- ・JR烏山線について、これまで利用者が減少傾向にあったが、令和5年度の平均通過人員が7年ぶりに増加に転じたことは評価できる。大切な地域資源であるJR烏山線を次世代に引き継ぐためにも、さらなる利用向上に向けた取り組みを図られたい。
- ・市営バスは、乗車人員、使用料収入ともに伸び悩み、厳しい運営状況が続いている。利用動向に見合った運行ダイヤ及び路線の見直し等、持続可能な公共交通の構築に向け、共同運行している市町と検討されたい。

総務課

- ・地域経済の振興と地元中小業者育成の観点から、地元業者で対応可能な事業については「条件付き一般競争入札」を採用するなど、入札の透明性や公正性に配慮しつつ、地元業者の育成にもつながるような入札制度となるよう努められたい。
- ・防災行政無線は、災害発生時における伝達ツールとして非常に有効である。すでに整備済である先進地事例等を研究し、本市に最適

で最も効果的な防災行政無線システム整備に向け検討を進められたい。

税務課

- ・大口滞納者の換価処分、不納欠損処分による徴収率の増は評価できる。市税は歳入の主たるものの1つであるため、納期内納付に有効な口座振替の勧奨や、キャッシュレス納付の促進を図り、今後も収納率の向上、収入未済額の減に努められたい。
- ・固定資産税の課税客体把握のための航空写真撮影業務を3年ごとに委託している。近隣の市町と共同で実施するなど、現在よりも安価で精度の高い方法を検討されたい。

議会事務局

- ・タブレット機器が導入され、本会議においても完全ペーパーレスとなった。紙資料での閲覧に近づけるよう、また、閲覧にあたって不具合等がないよう努められたい。併せて、タブレット導入にあたってのメリットデメリット、費用対効果を検証されたい。

文教福祉常任委員会

◎所管する課等

市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課 及び生涯学習課

市民課

- ・熊田診療所及び七合診療所は1次医療圏に位置づけられる医療機関として大きな役割を果たしており、地域住民へ安定的な医療提供が行えるよう、必要に応じて施設の修繕や医療器具の更新等を検討されたい。
- ・マイナンバーカードを利用した、コンビニエンスストアでの住民票の写しや印鑑登録証明書等の交付について、前年度と比較し倍以上の交付枚数となったことを評価する。中でも業務時間外の利用が多いことから、今後は更なる周知を行い、業務効率や市民の利便性向上を図られたい。

健康福祉課

- ・健康マイレージ事業について、利用者拡大に向けた周知方法の見直しにより申請者が大幅

な増加となったことを評価する。今後は児童・生徒を対象とした各種イベント等での周知を検討され、更なる利用者拡大や市民の健康保持・増進に努められたい。

- ・ふれあいの里やいきいきサロン等の一般介護予防事業については、筋力低下や認知症対策、介護予防に有効な取組であることから、参加者増加に向けた開催地域の拡大に努められたい。

こども課

- ・なすからこども園（認定こども園）については、新園舎建設から旧園舎解体まで計画に沿った進捗管理を行うとともに、令和7年4月の開園に向けて設備等の移行を滞りなく進められたい。
- ・市内特定教育・保育施設の副食費免除事業費補助金については、令和6年度まで実施としているが、子育て世代の負担軽減に寄与している事業であることから、令和7年度以降も継続されるよう事業形態を調査研究され、子ども・子育て支援施策の更なる充実を図られたい。

学校教育課

- ・すこやか推進担当によるすこやか相談・教育相談センターについては、不登校や就学関係等の様々な相談が見受けられることから、相談者一人ひとりへのきめ細やかな対応に努められたい。また、市内小中学校での特別支援教育の充実に向けて教職員のスキルアップに努められたい。
- ・スーパーティーチャー育成事業については、これまでに実施した先進地視察等での研修内容を学校内で共有し、本市の実情に合った教育環境の調査研究を更に進め、市内小中学校の教員の授業力向上及び児童生徒の学力向上に努められたい。

生涯学習課

- ・本市の指定文化財について、所有者へ文化財の現況調査及び修繕等への意向確認を行い、適切な修復作業を実施するよう検討されたい。
- ・那須烏山市生涯学習推進計画については、令和5年度に実施したアンケートの内容を踏まえて第四期計画策定業務を進め、市民の生涯学習活動や地域活動の充実を図られたい。

経済建設常任委員会

◎所管する課等

農政課、商工観光課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

農政課

- ・園芸振興対策について、簡易施設（パイプハウス）設置費及び果樹棚の購入費を助成する制度を創設し、新規栽培や規模拡大を志向する生産者を支援したことは評価する。今後も意欲ある農業者を積極的に支援し、収益性の高い農業の拡大に努められたい。
- ・担い手対策について、農業従事者の高齢化や後継者不足、離農による遊休農地の拡大等は喫緊の課題であり、新規就農者の獲得は極めて重要である。就農前から就農後も切れ目なく、きめ細やかな支援を展開するため、支援体制の充実を図られたい。

商工観光課

- ・キャッシュレス決済推進事業について、市内外の多くの方に利用いただき、物価高騰による影響を受けた市内事業者や市民を支援する試みとなったことは大いに評価する。これを一過性の取組にすることなく、検証を重ね、次の事業に反映されたい。
- ・企業誘致については、市内経済の活性化と新たな雇用の創出に資するため、これまで以上に積極的に取り組みとともに、市内の既存立地企業の育成・支援についても十分に配慮し、新規立地企業の誘致との相乗効果による更なる成果の導出に努められたい。

都市建設課

- ・ふれあいの道づくり事業については、地域に密着した生活道を住民の手により整備する市民協働の事業であり、道路愛護の醸成に寄与し、地域住民からの要望も多いことから、より一層の普及促進を図るとともに、作業の安全確保における指導を徹底されたい。
- ・防災集団移転促進事業については、前例のない事前移転事業であり、国との調整・協議に時間を要すると思われるが、地元住民の不安は計り知れないため、スピード感をもった確かつ丁寧な対応に努められたい。

上下水道課

- ・有収率の向上について、本市の水道事業の事業規模からして大規模な管路の布設替えは難しいため、費用対効果を勘案しながら効果的な漏水調査、修繕及び管路の耐震化に努められたい。
- ・水洗化率について、烏山中央処理区は他の地域に比べて極めて低く、抜本的な対策が必要であるため、戸別訪問による新規加入者の獲得はもとより、あらゆる方法を検討し水洗化率の向上に尽力されたい。



令和七年は
終戦八十周年

滝口 貴史 議員

- ①JR烏山線について
- ②那須烏山市立小中学校における空調設備の導入について
- ③那須烏山市武道館における空調設備の導入について
- ④市施設における多目的トイレについて



映像配信はこちら

J R烏山線について

Q 今年アキュム導入10周年の節目の年にあたる。今後控えているイベント等について伺う。

A 市長 記念イベントについては、J R東日本や関係団体、利用向上に取り組む市民団体等で、今年度新たに組織した那須烏山市J R烏山線利用向上委員会で、具体的内容を検討している。

A まちづくり課長 烏山駅前広場でのイベントを計画しており、そば店の出店やマルシェ、市内の小中学校等による吹奏楽といった様々な企画に加え、ご当地マンホールのお披露目も検討している。

Q マンホールのデザインは烏山線のヘッドマークのようなものなのか。

A まちづくり課長 現在J R東日本の社内で募集をかけており、アキュム10周年をテーマとしたデザインを考えているところである。

那須烏山市立小中学校における空調設備の導入について

Q 市内小中学校の体育館における空調設備の導入の考えがあるか伺う。

A 教育長 本市の小中学校の体育館においては、空調設備が未設置となっている。体育館は、熱や湿気がこもりやすいことに加え、ここ近年の夏の猛暑日を考慮すると、空調設備設置の必要性を強く感じている。現在、空調設備よりも安価な大型冷風機やスポットクーラーの導入なども視野に入れ熱中症対策を検討している。

Q スポットクーラーや大型冷風機を入れたとしても、根本的な解決にはなっていないと思う。また避難所に指定されている体育館への対応は。

A 教育長 子供たちの学校生活に支障のないよう、各課等においてお願いをしながら、調整を図っていきたい。



平安時代の美意識
と和歌に驚かされています

中山 五男 議員

- ①合併20周年を迎えるにあたり本市の将来像について
- ②令和6年度全国学力テスト(全国学力学習調査)の結果について
- ③県版学力テストの成績について
- ④隅川(岩子地内)の堤防嵩上げについて
- ⑤ふるさと納税について



映像配信はこちら

合併20周年を迎えるにあたり本市の将来像について

Q 本市は間もなく合併20周年を迎えようとしているが、その間の人口減少と高齢化の進行に歯止め策を見出せず、消滅可能性がある自治体として名指しされている。

人生の中でも20歳ともなれば、民法上ほとんどの権限が与えられ、自らの判断により自立した人生を歩まなければならない。

そこで、本市も20周年を迎えるにあたり、合併効果が上がったうえ、自立した自治体として成長されているか、この際検証すべきである。

そして、本市の20年、30年先のあるべき姿を描き、市民の方々に夢と希望を抱かせ、本市が持続可能であることを示すことこそ、市長の重大な責務である。このことをいかにお考えか伺いたい。

A 市長 まもなく合併20周年を迎えるが、誇りを持って言えるようなことがまだ醸成できていない。それを変えていくのが私の仕事と思っている。そして、本市が永劫続くよう進めていくために、今が踏ん張りどころである。

そこで、本市の目指すべき将来像を求め、私自身が市民との直接対話により、市民意向の把握に努めている。人口減少対策では、市民の方々に永く住み続けていただき、人口の流出を抑制することを第一に考え、市民の満足度、幸福度を高め、定住策の充実を優先した施策を図ることとしている。

そして、持続可能なまちづくりを推進するため、防災とまちづくりの拠点となる新庁舎と、要望の高い周辺施設を連動した新たなまちづくりの将来像を示す、ランドデザインの検討を進めているところである。



貴重な1票
無駄にしないで

渋井 由放 議員

- ①都市公園の整備について
- ②選挙管理委員会のDX推進について
- ③地域防災計画について
- ④業務継続計画(下水道BCP)について
- ⑤業務継続計画(ICT-BCP)策定について
- ⑥都市計画道路の進め方について



映像配信はこちら

業務継続計画(下水道BCP)について

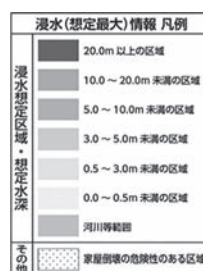
Q災害が発生すると各部署が業務継続計画(BCP)に沿って、早期の復旧・復興を目指す。

下水道処理場は、南那須処理区と烏山処理区に分かれている。ハザードマップによると南那須処理区は、ぎりぎり水が来るか来ないかの場所にあり、烏山処理区は、10メートル以上水没すると想定されている。下水道BCPを設定しているのであれば、復旧時間、その他の対応がどうなるかが記載されているはずである。これは、防災拠点たる那須烏山市庁舎の大きな論点になるはずだと考えられるが庁舎整備検討委員会では、その辺は一切触れられていない。

まず、下水道BCPを、ホームページや地域防災計画に掲載し、復旧するまでどのような対策を取るのか、時間がどのくらいかかるのか、市民の皆様にご存知いただきたいと思います。市長の

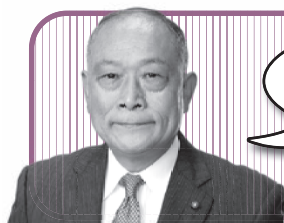
考えを伺う。

A市長 下水道BCPは内部情報を多く含んだ計画であることから、地域防災計画に掲載することは難しいと考えているが、下水道施設は市民生活にとって重要なライフラインの1つであることから、災害発生後の応急復旧に要する目標時間など情報提供する内容をまとめ、概要版を作成し、市ホームページ等で市民に周知を図っていきたい。



那須烏山市ハザードマップ

<https://www.city.nasukarasuyama.lg.jp/page/page000186.html>



8月1日・2日に富士
登山してきました！

平塚 英教 議員

- ①し尿処理における下水道施設の活用について
- ②南那須地区広域行政事務組合の一般廃棄物処理施設整備状況について
- ③防災行政無線整備について
- ④本市の防災対策について
- ⑤防災集団移転促進事業計画について
- ⑥市内の山河、名所を活用したハイキングコースの設定について



映像配信はこちら

し尿処理における下水道施設の活用について

Q南那須地区広域行政事務組合は、し尿処理施設の整備基本構想の見直し・再検討を進めており、本年3月に「し尿処理施設整備基本計画」を策定し、8月25日に説明会を開催している。新し尿処理施設は、有機性廃棄物リサイクル推進施設の汚泥再生処理センターを設置して下水道放流方式で進めるとの内容である。現在、広域行政を構成している那須烏山市と那珂川町には4つの下水道処理センターを有しており、この下水道施設をどのように活用して新たなし尿処理方法に移行するのか説明いただきたい。

A市長 下水道施設を活用したし尿処理については、現在、広域行政において具体的な検討が進められているところである。しかし、先日の広域行政の説明会に報告したことしか進んでいないのが実情であり、今後、場所等(どの下水道

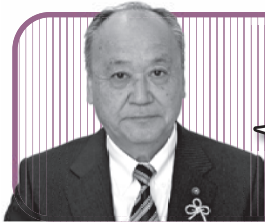
施設を活用するか)を検討し、その都度市議会へ報告してまいりたい。

Q新たなし尿処理は、汚泥再生処理センターを設置して、投入したし尿や浄化槽汚泥等を脱水分解処理をして脱水した水だけを下水道施設に流し込む方式との理解で良いか。

Aまちづくり課長 そのような方式と考えるが、採用するかどうかは広域行政で進められる。



南那須水処理センター



肥満よ止まれ ㊦

相馬 正典 議員

- ①学校給食保護者負担軽減交付金事業について
- ②清水川せせらぎ公園整備について
- ③JR烏山線を通じた近隣自治体との連携について
- ④JR烏山駅前整備について
- ⑤地域貢献活動休暇条例制定について
- ⑥本市の水道事業について
- ⑦空き家、空き地対策について



映像配信はこちら

学校給食保護者負担軽減交付金事業について

Q 本事業は、新型コロナ対応地方創生臨時交付金で措置され、給食費保護者負担軽減交付金として、令和5年4月～令和6年3月までの予算措置である。来年度以降の対応について伺う。

A 市長 令和7年度以降の給食費補助の対応については、財政面と保護者の経済的負担軽減の両面で、慎重に検討している。現在国においては、こども未来戦略方針に基づき、異次元の子育て対策を進めており、学校給食費の無償化についても検討されている。引き続き市長会等を通じ、全国的な学校給食費の無償化について強く要望してまいる。

Q 給食費補助は、市単独事業として継続するべきではないかと考える。他市の動向とは関係なく、本市の気概を示していただきたいと思うが、いかがか。

A 市長 慎重に考えていきたい。また、議員各位の意見をいただければ幸いである。

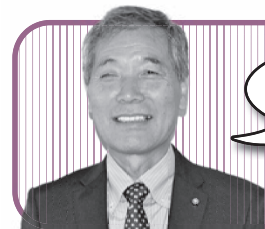
清水川せせらぎ公園整備について

Q 令和6年度以降の取組について伺う。

A 市長 子供から高齢者に至るまで、誰もが楽しく安全に利用できる、ユニバーサルデザイン等に配慮した空間として再整備するため、実施設計を行い、令和7年度から工事に着手したいと考えている。



清水川せせらぎ公園



戦争の無い日本で
幸せを感じる。

堀江 清一 議員

- ①庁舎整備について
- ②本市の農業行背について
- ③ゴルフ場利用税交付金について



映像配信はこちら

庁舎整備について

Q 庁舎整備検討委員会において新庁舎候補地を烏山駅周辺の1か所に絞られたとの事だが、渋井議員の質問に対して川俣市長は区画整理や都市計画道路についても検討委員会で説明した旨の答弁をされた。その際検討委員会への様に説明されたか伺う。

A 公共施設再編担当課長 JR烏山駅周辺についても、都市計画道路が未整備である状況を示したうえで候補地について議論した。全くテーブルに乗せずの議論ではなく、資料を提示して委員会へ説明した。説明資料には個人情報が含まれているため会議終了後に回収しており、ホームページにもその様な配慮から載せていないが、しっかりと議論をした経過がある。

Q 都市計画道路について庁舎整備検討委員会の方々に、そこに庁舎が出来るという前提で説

明されたのか。その道路に関して委員の方々は本当に理解されたのか伺う。

A 公共施設再編担当課長 都市計画道路があるということを地図上で示し、まだ未整備であることも説明をした。その上で候補地に庁舎が建つかどうか議論を進めた。庁舎の建築面積が候補地の敷地の中に収まるかどうか検討した。例えば2階の工法であるとか3階工法といった工法によっては都市計画道路にかからない、都市計画道路の面積を除いた場合であっても駐車場及び建築面積を収容する事が可能である、との議論になり、烏山駅前において庁舎整備をする事は問題ないという結論に達したと記憶している。



未来を託す
優れた人材育成教育に
期待する

小堀 道和 議員

①教育長に期待すること

②前例踏襲脱却文化を全職員で実現して欲しい



映像配信はこちら

教育長に期待すること

Q本市は今のままでは衰退の一途を進んでいくと心配になるが、見るべき資源がなくても可能性のある素晴らしい特別な資源がある。それは優れた人材育成教育から生まれる優秀な人材である。幕末に輩出された薩長土肥の優れた人材は、その土地の素晴らしい教育により生まれたということは理解できるのに何故そのような教育をしないのか、できないのか。教育長には「那須烏山市の教育」と称賛される人材育成教育を実現して欲しい。そのために「意欲溢れる人生観」、「志の高い尊い職業観」、「幸せ呼び込む知識感」を教え自分が幸せを実感できる将来の夢を持たせる教育を実施して欲しいが見解を伺う。

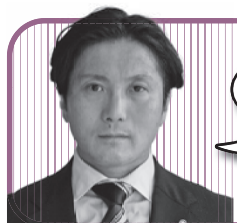
A教育長 今日予測できない時代の流れの中で生き抜くためには、現在や未来に主体的に向き合って関わり、よりよい社会と自らの幸福

を作り出していくことが必要と考えている。子どもたちの学びの場は学校にとどまらず社会の中で様々な人と関わりながら学びを深めていくことが大切。学校を取り巻く社会の協力が必要と考えている。本市教育ビジョンや3期計画の基本理念にある夢を持ち夢の実現に向けて歩む力を育むまちづくり、未来の担い手となる人づくりを目指す教育実践を行っていく。子どもたちが幸せを実感でき、将来の夢を持たせる教育に資する取組となるよう、学校支援に努めたい。

松下村塾



幕末時、多くの優れた人材を輩出した特筆する人材育成教育



今年も
八溝新そばが
美味しい！

荒井 浩二 議員

①JR烏山線関連事業について

②「産官学による里地・里山再生プロジェクト」について

③補聴器購入助成について



映像配信はこちら

J R 烏山線関連事業について

Q令和6年11月23日にJR烏山線ACCUM(アキュム)導入10周年記念イベントがJR烏山駅前にて行われる。そこで予定されている八溝そば街道の出店事業について内容を伺う。

A市長 烏山線利用向上に繋げるため、PRを兼ねて八溝そば街道推進協議会加盟の3店舗が出店を調整している。当日の烏山線利用者への乗車特典として、イベント会場で利用出来る八溝そば1杯分の無料チケット(500円相当、150枚程度)を配布する予定である。八溝そばの味や奥深さを楽しみ、リピーターとして再訪していただけることを期待している。

コロナ禍以降、「八溝そば街道そばまつり」は中止となっているが、八溝そばの知名度アップとブランド力向上のために市としても今後も対応していきたい。

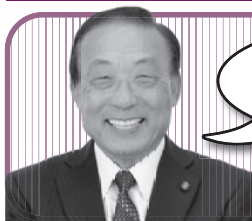
「産官学による里地・里山再生プロジェクト」について

Q当該事業は本年度末に終了となるが、その成果を踏まえた今後の事業展開について伺う。

A市長 企業版ふるさと納税を活用した、一般社団法人里山大木須を愛する会が行う4年間の事業としては終了となるが、特に雑草問題対策を扱ったプロジェクトは全国的にも珍しく、多方面から評価されている。これらの成果を有効に活用し、産官学で連携を図りながら市内の農家等に還元出来る取り組みを積極的に支援していく。



八溝そばで作られた八溝そば寿司(市内飲食店提供)



オオスズメバチ
襲来！

高田 悦男 議員

- ①市民ボランティアによる道路や河川敷の草刈りの実施について
- ②地デジ組合への支援について
- ③災害時の対応について



映像配信はこちら

市民ボランティアによる道路や河川敷の草刈りの実施について

Q道路や河川敷の草刈り作業に携わる自治会会員の減少や一層の高齢化などから、自治会役員や担当者はボランティア作業の安全確保に特段の注意を払わなければならないのが現状である。これらの作業を業務委託している市町もあるが、本市では実施する考えがあるか伺う。

A都市建設課長 茂木町、真岡市においては、県と連携を取りながら実施している。本市としても烏山土木事務所と連携を取りながら、取り組みたい。

茂木町も真岡市も、費用については県負担となっていることから、本市においても県負担で業務委託による作業が実施可能か調整をしていきたい。

地デジ組合への支援について

Q地上アナログ放送から地上デジタル放送に完全に切り替えられ、市内において多くの地デジ組合が設立されている。アナログ電波が完全に停止されて10年以上が経過し、共聴設備の維持に多大な労力を必要としている。市として地デジ組合に対する支援策を考えるべきと思うが、市の考えを伺う。

A市長 本市独自の「市地上デジタル放送難視聴解消事業補助金交付規程」を制定し、共聴アンテナ施設の設置の経費の一部を助成している。設備の維持管理の経費については、受益者負担の観点から地デジ組合で負担するのが望ましい。

ホームページから定例会の議案書が閲覧できます

令和6年6月定例会分から、市議会のホームページで本会議の議案書を掲載しています。各定例会の1週間程度前に掲載し、どなたでも閲覧可能です。

※人事案件等、一部の議案書は本会議終了後に掲載する場合があります。

議会の動き

提出議案等

本会議の結果



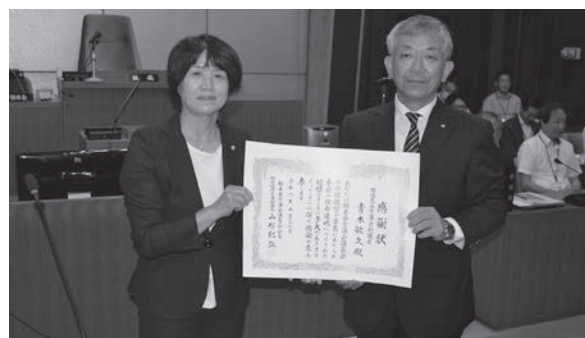
市議会は、市民から選出された議員で構成され、市の政策十分に反映させるため、市長が市政を行うのに必要な予算や条例など市議員から提出された議案などを審議し決定しています。このため、市議会は「議決機関」と呼ばれています。

市議は、市政の内部や重要な事項を議決として市議会に提案し、その決定に基づいて市政の事務を進めます。このため、市議は「執行機関」と呼ばれています。

市議会と市議はそれぞれ独立、対等の立場でありながら、市民を代表する「執行機関」として市政の運営に協力しています。

表彰

栃木県市議会議長会より、渋井由放議員(前議長)と青木敏久議長(前副議長)に感謝状が贈られました。



JR烏山線利用促進特別委員会 山あげ祭期間中のお出迎え

山あげ祭の開催に合わせて、7月27日(土)に烏山駅前にてJR烏山線のお出迎えを行いました。

暑い中、多くの方々に烏山線を利用してご来場いただきました。

当日はJR東日本によるブース出展もあり、駅前は大変にぎわっていました。



避難訓練・救命講習会

日程:令和6年9月13日(金)

9月13日(金)に、那須烏山市南那須庁舎において行われた避難訓練及び救命講習会に参加しました。

避難訓練では庁舎3階からの避難訓練や消火訓練を実施し、救命講習会では胸骨圧迫とAED使用法を中心に、応急処置についての講習を受けました。



議員研修会

日程:令和6年10月8日(火)

10月8日(火)に、市議会におけるハラスメント防止研修を実施しました。

研修をととして、公務員と民間におけるハラスメントの定義の違いや、多様なハラスメントへの対応策について学びました。

終了後には研修に対する各議員の感想等を発表し、研修内容を深めました。



群馬県千代田町議会来訪

令和6年8月8日(木)

群馬県千代田町議会総務産業常任委員会委員の皆さんが、本市へ視察研修のため来訪されました。

今回の研修では本市の「なすからブランド」及び「八溝そば街道」について視察され、研修のなかでは実際になすからブランド認証商品を召し上がっていただきました。



文教福祉常任委員会 視察研修報告

日程:令和6年10月1日(火)

当委員会は、10月1日(火)に矢板市に伺い、今年4月にオープンした文化スポーツ複合施設を視察しました。

当施設は、老朽化に加え、令和元年台風19号により被災した矢板市文化会館と矢板市体育館の代替施設として、総事業費約19億2千万円をかけて統合整備されました。時代と需要の実勢に合わせて規模を縮小し、研修室やトレーニング設備、中長期向けの避難所機能を有しながらも、コンパクトでDXに対応した複合施設

で、可動式の座席を設置することでホールとしても機能します。全館エアコンを完備した施設は需要が高く、大会や合宿に利用され、当初目標の年間利用者3万人を超えるペースで稼働しています。

本市でも公共施設の再編が議論されているため、学ぶことも多く、調査研究を続けていく上で有意義な視察となりました。



体組成測定機器等について説明を受ける委員

定例会のあらまし

主な質疑

決算審査

一般質問

活動報告

令和5年度決算に基づく 健全化判断比率が公表されました。

令和5年度決算に基づく健全化判断比率の算定結果が監査委員の審査を経て、9月定例会において報告されました。また、この算定については適正にされていることと、現段階においては是正改善を要する事項がないことも併せて報告されました。

●令和5年度決算に基づく健全化判断比率 (単位:%)

指標の種類	那須烏山市		早期健全化基準
	R4	R5	
健全化判断比率	実質赤字比率	—	13.62
	連結実質赤字比率	—	18.62
	実質公債費比率	7.0	25.0
	将来負担比率	—	350.0
資金不足比率		—	経営健全化基準 20.0

健全化判断比率…

早期健全化基準の数値を上回った場合、早期健全化計画等を策定しなければなりません。

資金不足比率……

経営健全化基準の数値を上回った場合、経営健全化計画を策定しなければなりません。

※「—」は、赤字または資金不足を生じていないため、当該数値について該当がないことを示しています。

議会の動き

令和6年8月

- 7日○議員全員協議会
- 9日○議会だより第73号発行
- 27日○議会運営委員会
- 議員全員協議会
- 各常任委員会

9月

- 3日○第3回9月定例会(18日まで)
- 4日○議会広報委員会
- 6日○議会改革推進特別委員会
- JR烏山線利用促進特別委員会
- 10日○各常任委員会(11日まで)
- 13日○議会運営委員会
- 那須烏山市役所南那須庁舎防災訓練・救命講習会
- 18日○議会運営委員会
- 議員全員協議会

10月

- 1日○文教福祉常任委員会視察研修(矢板市)
- 8日○議員研修会
- 文教福祉常任委員会意見交換会
- 9日○全国市議会議長会研究フォーラム(右手県・10日まで)
- 15日○議会広報委員会
- 20日○議会報告会
- 23日○議会広報委員会
- 24日○栃木県市議会議長会議員研修会
- 28日○経済建設常任委員会視察(山形県鶴岡市ほか・29日まで)

特集

化石に情熱を傾ける吉澤時明さんは本市が力を入れているジオパーク構想の協力者です。特に荒川河川敷で多くの貴重な化石を発見しています。化石を発見するには専門的知識と研ぎ澄まされたカン(勘)が必要ですが吉澤さんのレベルの高さには驚かされます。吉澤さんが発見した貴重な化石は、本県が海だった時代のクジラ・イルカ・アシカなどの骨化石160点ほど。私(小堀)の自宅前の荒川河川敷を雨上がりに散歩すれば必ず貴重な化石が見つけれられているほど本市は化石が豊富なのです。

発見した化石を笑顔で紹介する吉澤さん

本人プロフィール
本市在住:27年
出身地:宇都宮市
現住所:鴻野山
趣味:化石・石器の収集



那須烏山市で化石を発掘・研究する吉澤時明さんを紹介します！



吉澤さんが発見した貴重な化石(例)



セイウチ犬歯化石
荒川層群
約1,100万年前
栃木県知事賞受賞



イルカの頭骨
荒川高瀬
約1,100万年前
新種か専門機関で調査中

本市に移住してから27年になるそうですが、化石収集のきっかけを伺うと「オオガネクジラ以外にもクジラの化石はあるはずと思った」とのこと。市民の皆さんに伝えたいことはと聞いたところ「我がまちが海だった時代に海底に堆積した地層が露出し、中にはまだ発見例がない貴重な化石があるはず。ぜひ新種の化石を発見してみてください」とのこと。吉澤さんの化石にかける情熱には圧倒されるばかりでした。

(文責 小堀 道和 議員)



映像配信はこちら

YouTubeで9月定例会の本会議全ての録画映像を配信しています。

那須烏山市議会 映像

検索

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。傍聴を希望される方は市役所南那須庁舎3階までお越しください。議会の日程等については、気軽に議会事務局にお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

次回の12月定例会は、
11月29日(金)開会予定です。

正式な日程は11月21日(木)に開催される議会運営委員会で決定されます。

あとかき

9月定例会および常任委員会による決算審査が無事終了いたしました。市民の皆様の日頃のご支援に深く感謝申し上げます。今後も引き続き、市民の皆様にとってより良い行政サービスの提供を目指し、改善に努めてまいります。

さて、JR烏山線は、昨年開業100周年を迎え、地域にとって重要な交通手段としてその歴史を刻んできました。今年はACCUM(蓄電池車EV-301系電車)導入から10年という節目を迎えました。環境に優しいハイブリッド車両であるACCUMの導入は、烏山線に新たな未来をもたらしましたが、その存続にはさらなる支援と利用促進が不可欠です。地域の一員として、この大切な路線を守るために、私たちができることを考えていく必要があります。これからも議会としての責務を果たし、市民の皆様と共に、より良い那須烏山市の未来を築いてまいりたいと思います。

(高木 洋一 議員)